

令和5年度第1回小金井市玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会 視察結果

実施日	令和5年4月6日（木）
時 間	午前9：00から10：00まで
内 容	小金井橋から開始し、新小金井橋で終了した。 整備実施区間・・・「サクラの生育状況」・「伐採樹木の管理状況」・「被圧樹木の有無」・「上水堤の植生状況」 その他・・・歩道及び緑地帯の現況確認
参加者	委員会（亀山委員、椎名委員、伊東委員、小野委員） 小金井市（生涯学習課、環境政策課、道路管理課） 東京都教育庁（地域教育支援部） 東京都水道局（経理部、境浄水場）
オブ ザーバー	武蔵野市（生涯学習スポーツ課） 小平市（文化スポーツ課） 市民団体（名勝小金井桜の会）
委員会 所 見	<p>【小金井橋～新小金井橋間】（平成29～令和元年度整備済み）</p> <p>サクラの生育状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備事業において補植した桜は全体的には良好に生長している。 ・今回、既に生長した桜が立ち枯れ状態になっているものが見受けられた。正確な原因は詳細な調査を行わなければわからないが、症状から、「ナラタケモドキ病」の伝染によるものの可能性がある。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「名勝」とは、サクラの木のみを指しているものではなく、周囲の景観まで含めて「名勝」なので、法面等の周囲の景観も大変重要である。 ・法面の崩壊がかなり深刻な状況である。ケヤキの伐採跡から新たな根が生長し始めており、「史跡」の保全の観点からも早急な対応が必要である。 ・小金井市域においては、長年にわたる整備事業の努力の成果により、課題は多いものの、全体的には非常に良い状態になっている。だからこそ、その「努力」の理解を広めるための広報により力を入れるべきである。 ・玉川上水沿いに、桜の管理番号の意味を説明した説明板を設置すると良い。 ・親木の情報をもっと積極的に公開し、現在補植を行っている苗木が正統な後継樹であることの広報をもっと行ってほしい。